

大阪大谷大学

平成三十一年度 入学試験問題（一般 中期）

国 語

注意事項

- 一 問題用紙は全部で十一ページです。解答用紙は一枚です。
- 二 解答用紙の所定欄に受験番号と氏名を記入してください。
- 三 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
- 四 問題用紙は持ち帰ってください。

□ 次の文章は、北村薫の小説「四角い世界」の一節である。文章を読んで、後の問に答えよ（設問に字数制限がある場合、句読点・符号等はすべて字数に含む）。

その小国の言語を理解しようとする **イ** ^aホウ人は、ごくわずかです。

わたしは、若い頃、予定もない旅をしていました。隣国からたまたまそちらに入り、その言葉の響きの面白さに取り憑かれてしまったのです。多少とも分かってみると、この国の言葉で書かれた詩などには、格別の味があります。

ことに、国民に敬愛されている白髯^{しらひげ}の作家がいるのですが、この人の書く幻想的な小説は、世界のどこにもないような個性的なものです。

日本に帰ってから、幾つかを自分なりに訳して、人に見せました。すると、面白がって下さる方もいらした。それからそれへと話が繋がり、ある文芸雑誌で、取り上げられたりしました。

わたし自身は定職に就くこともなく、ここまでアルバイトめいたことをしながら、父母の家で暮らしていました。そうしたところが、突然、ある映画会社の方から、電話があつたのです。

その方は、大勢を相手にするのではなく、限られた観客に、**A** 映画を観せていました。世界の映画祭を観て回り、これこそという作品を買い付けて来るのです。

南欧で開かれた、ある小さな映画祭で、一部の批評家が絶賛していたアフリカの作品があつた。それを、仕入れて来たそうです。画面の全てが、実に美しい。空気が輝いている。観ていると、理屈抜きで引き込まれる。

——これは傑作だ。——
と思つた。

しかし、日本に帰って、改めて届いたフィルムを映写してみると、どうも **B** の合わないところがある。最初は、芸術

的な ^b ヒヤクと思っていたが、見返しているうちに思えて来た。

—— ついでに、英語の字幕がおかしいのではないか？

画面だけ観ていると、流れから考えて、《当然、こうしゃべっている筈だ》という部分があります。そこが、おかしい。となれば、信じられなくなってくる。他の肝心な箇所にも、誤りがあるのではないか。

もう、お分かりと思いますが、その映画の作られたのが、わたしの行っていた国なのです。おそらく日本人で、その言語を理解するのはわたし一人です。

I

連絡が入った、というわけです。

ひまではありませんし、何より興味がありました。出掛けて行き、試写室でその作品を観せてもらいました。

光の帯が、広くはない部屋の、^{やみ}闇の中に広がりました。スクリーンには、^cナツかしい、あの国の大地が映りました。一般の日本人の、アフリカというイメージを裏切るように、青々とした世界が広がり、美しい川の流れが輝いています。極彩色の羽根を頭に飾った鳥が、仕掛けもののように舞っています。

観ていると、すぐに分かりました。その映画は、白髯の作家のある小説を下敷きにしてるのです。しかし、それはあくまでも下敷きです。監督には監督の作りたい世界がある。その辺りの思いと原作の持ち味が、微妙に、^{らせん}螺旋のように^{たじ}振られて、ストーリーが難解になっていたのです。

物語が進むにつれ、観ているわたしの《ここは、こうした方がよかつたのではないか》という思いが、^①もう一つの螺旋となつて加わり、さらに振れ出しました。

試写室の明かりが点きました。

「いかがでしょう？」

率直に答えました。

「字幕には、かなりの勘違いがあります。表面上の意味が、ちよつとした語尾の変化で、まったく別のものになります。それが、

つかめていない。——何しろ、Cではいかな言葉なんです」

「ほう……。例えばですね、あの湖のシーンなどはどうでしょう。二人の老人の会話なんです……」

「ああ、あそこは、特に、ヨーロッパ系の言語を頭に置いては、訳せないところです。上辺のやり取りだけ、直訳しても駄目なんです」

わたしは、情景を思い浮かべつつ、問題の会話を日本語に直して再現した。相手の実直そうな顔に、積もった雪の解けるような笑顔が浮かんだ。

「なるほど、それで理解出来ます。いや、思ったより、ずっと興味深い話ですね。なるほど、なるほど……」

感嘆の声をあげつつ、しきりに頷うなずきます。わたしは、わずかなXを感じました。英語の字幕は確かに間違っていました。しかし、わたしのいったことも正しくはないのです。湖の場面は、展開の要かなめでした。

——《どうあつても、登場人物二人には、こう話してほしい》という台詞せりふがありました。しかし、映画では、そのD。《誰にも分からない》という安心感もあつたのでしよう。しかし、それより、《ここは、こうでなければならぬ》という思いの方が強かったです。

その時、わたしは、その映画を愛していました。確かに傑作なのです、映像としては。ただ、語られている言葉に問題がありました。② 物語が画面を裏切っていました。

わたしは、その場で、映画に日本語版字幕をつけるように頼まれました。もう、罪悪感以上に強い、③ 奇妙な良心に従ってやるしかないと思いました。勝手ないい分ですが、そうしなければ、この映画が可哀想かわいそうだと思つたのです。

わたしの字幕がついた時、画面の人物の多くは、④ 口にしたのとは違う言葉をしゃべっていました。笑いながら哀かなしみを語り、泣きながら喜んでいました。ただ、極彩色の頭を持つ鳥だけが、クアーウ、クアーウと、変わらぬ声で鳴いていました。

映画を観た評論家は、絶賛の言葉をdアビせました。本年度のe シュウカクといわれ、小品ながら見逃すことの出来ぬ作品とい

われました。その映画は予定より長く上映され、何人かの日本の監督が、影響を受けたと語るようになりました。しかし、四角い闇の箱の中の、四角い画面に映されていたのは、^⑤この世のどこにも、存在しない筈の映画でした。

問一 二重傍線部 a と e のカタカナを漢字に直せ。

問二 空欄

A

く

D に入る最も適当な語句を、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

A B C D

ア	ア	ア	ア
よりをかけた	よりによって	よりすぐりの	よりどりみどりの
辻棲 <small>つじすま</small>	辻占 <small>つじうら</small>	辻説法	辻札 <small>つじだ</small>
一粒種	一枚岩	一家言	一筋縄
粒が揃 <small>そろ</small> っていた	詰めが甘かった	敷居が高かった	馬が合った

問三 空欄

I

I に入る最も適当な語句を、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア しかし イ そのうえ ウ だから エ また

問四 傍線部①「もう一つの螺旋」とあるが、これ以外の「螺旋」を形づくるものは何か。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア 原作者である白髯の作家に対する国民の思いと、映画の世界観。
- イ 映画の原作に対する私の思い入れと、映画監督の作った世界。
- ウ 作りたい世界に対する映画監督の思いと、原作の持ち味。
- エ 原作の小説に対する、白髯の作家と映画監督それぞれの思い。

問五 空欄

X

に入る最も適当な語句を、本文中から抜き出し、三字で答えよ。

問六 傍線部②「物語が画面を裏切っていました」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア 物語は個性的だが、映像は美しいけれどもよくある美しさであるということ。
- イ 小説を映像化することが、その小国の国民には許せない裏切りだということ。
- ウ 映像は監督のものだが、ベースとなる物語は白髯の作家のものだということ。
- エ 映像は美しいが、登場人物の台詞が物語の流れとは合っていないということ。

問七 傍線部③「奇妙な良心」と同じ内容を表現した部分を、傍線部③より前の本文中から二十五字以内で抜き出して答えよ。

問八 傍線部④「口にしたのとは違う言葉」とあるが、これと対照的な表現を本文中から抜き出し、五字で答えよ。

問九 傍線部⑤「この世のどこにも、存在しない筈の映画」とあるが、「わたし」はなぜこのように言うのか。その理由を本文中の語句を用いて、四十字以内で答えよ。

□ 次の文章は『枕草子』の一節である。読んで後の間に答えよ。

① 二月つごもりごろに、風いたう吹きて、空いみじう黒きに、雪少しうち散りたるほど、黒戸くろどに主殿司とのもつがき来て、「かうてさぶらふ」と言へば、寄りたるに、「これ、公任きんたかの宰相殿②の」とあるを、見れば、懐紙ふせに、

少し春あるここちこそすれ

とあるは、げに、けふのけしきに、いとよう合ひたるも、これがもとは、いかでかつくべからむ、と思ひわづらひぬ。「たれたれか」と問へば、「それぞれ」と言ふ。みな、いとほづかしき中に、宰相の御いらへを、④いかでか、ことなしびに言ひいでむ、と心一つに苦しきを、お前に御覽みせさせむ、とすれど、上のおはしまして、大殿ごもりたり。主殿司は、「とくとく」と言ふ。⑤げに、遅うさへあらむは、いと取り所なければ、さはれとて、

⑦ 空寒くわんみ花にまがへて散る雪に

と、わななくわななく書きて、取らせて、いかに思ふらむ、とわびし。これがこと⑧を聞かばや、と思ふに、そしられたらば、聞かじ、とおぼゆるを、「俊賢としかたの宰相など、『なほ内侍ないしに奏してなさむ』となむ定めたまひし」とばかりぞ、左兵衛督さひやうまのかみの、中将におはせし、語りたまひし。

(注) 黒戸くろど 清涼殿の北にあった細長い部屋。

主殿司とのもつがき 主殿寮の下級役人。

かうてさぶらふ 二 ごめんください。

公任きんたか 藤原公任。正暦三年(九九二)参議、長保三年(一〇〇一)八月、中納言になる。「宰相」は参議の唐名。

お前まへ 中宮定子。 上かみ 一条天皇。

俊賢としかた 源俊賢。長徳元年(九九五)八月、参議、長保六年(一〇〇四)正月、権中納言になる。

内侍ないし 掌侍なしのじょう。この時代、普通の女房としては最も高い地位だった。

左兵衛督さひやうまのかみ 藤原実成まねなり。長徳四年(九九八)十月、中将、寛弘六年(一〇〇九)三月、左兵衛督になる。

問一 傍線部①「二月つごもりごろ」について、

(1) 「にがつ」以外の「二月」の読みを、ひらがなで答えよ。

(2) 「二月つごもりごろ」は当時どのような季節か。最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 真冬 イ 冬の終わり ウ 早春 エ 春たけなわ

問二 傍線部②「の」の用法と同じものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 月の出でたらむ夜は、見おこせたまへ。

イ 扇どものをかしきを、そのころ人々持たり。

ウ 世になく清らなる玉の男皇子さへ生まれたまひぬ。

エ 草の花はなでしこ。唐のはさらなり、大和のもいとめでたし。

問三 傍線部③「これがもとは、いかでかつくべからむ」の現代語訳として最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア この句を詠んだ発想のもとには、どうすればたどり着けるだろうか。
- イ この句のもとになっている漢詩に気づくには、どうすればよいか。
- ウ この下の句の上の句を、どのように作り添えればよieldろうか。
- エ この下の句の上の句を、何とかしてうまく書き付けてみたい。

問四 傍線部④「はづかしき中に」、⑤「こと」の意味として最も適当なものを、それぞれ、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- | | |
|-------------|--------|
| ④ 「はづかしき中に」 | ⑤ 「こと」 |
| ア 立派な方々の中で | ア 事件 |
| イ 恥ずかしい思いで | イ 和歌 |
| ウ 気まづい気持ちで | ウ 言葉 |
| エ 内気な人々の中で | エ 評判 |

問五 傍線部⑤「いかでか、ことなしびに言ひいでむ」の現代語訳として最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア どうすれば、無事に切り抜けられるだろうか。

イ どうして、いいかげんな返事ができようか。

ウ 何とかして、波風を立てず返事をしたい。

エ 是非とも、無難に乗り切りたいものだ。

問六 傍線部⑥「とくとくとく」、⑧「寒み」を、それぞれ、漢字を含めて四字で現代語訳せよ。

問七 傍線部⑦「遅うさへあらむは」を現代語訳せよ。ただし、「さへ」のもつ意味を踏まえて、五字以上の言葉を補うこと。

問八 本文に見える和歌のやりとりは、『白氏文集』に収められた「南秦ノ雪」という七言律詩の「三時雲冷多飛雪 二月山寒少有春」に基づいている。当時の貴族に親しまれたこの詩文集は、誰の詩文を集めたものか。漢字三字で答えよ。

問九 本文は、過去の出来事を回想して書かれている。

(1) その根拠となる助動詞を、本文からそのまま抜き出せ。

(2) (注) に示された情報の範囲で、本文に見える出来事があつた時期を推定せよ。ただし、西暦を用いて、何年〜何年と答えること。